2019 年度　愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3301014	社会教育計画B Planning for Social EducationB	後藤誠一	専門	2	選択	2 年　後期

科目の概要

本科目は、社会教育主事資格取得に関わる科目であり、社会教育主事としてどのように地域住民のもつ学習へのニーズや課題などの地域の現状や課題、社会教育・生涯学習実践を把握・理解し、具体的な計画づくりや改善を行うのかを検討するものである。

学修内容	到達目標
①　社会教育計画の概要・視点・方法について学ぶ。 ②　地域住民のニーズの把握と課題解決を考える。 ③　社会教育職員の専門性と力量形成について学ぶ。 ④　学習の場について学ぶ。 ⑤　地域住民のもつ能力や可能性について検討する	①　社会教育計画について理解し、説明できる。 ②　地域住民のニーズと課題の発見と共有ができる。 ③　職員の専門性・力量形成を論じることができる。 ④　多様な学習の場について説明できる。 ⑤　地域住民のもつ能力や可能性を論じることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分の興味・関心に沿って学習を深めることができる。
	働きかけ力	困っている人がいたら、自分に何ができるのか考えて、行動することができる。
	実行力	授業に必要な情報を収集することができる。
考え抜く力	課題発見力	授業で問われていることは何か、学習を進める上での課題は何かを考えることができる。
	計画力	
	創造力	多様な課題を解決するための方法を創りだすことができる。
チームで働く力	発信力	自分で考えたことを他者に分かりやすく伝えることができる。
	傾聴力	他者の話を相手の立場に立ちながら理解することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	集中するときと休むときの切り替えを柔軟に行うことができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。適宜資料を配布する。
参考文献：辻浩・片岡了編『自治の力を育む社会教育計画』国土社、2014 年　日本社会教育学会編『地域を支える人々の学習支援』東洋館出版社、2015 年　など。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：他の社会教育主事資格取得に関わる科目と関連する。
資格との関連：社会教育主事（任用資格）

学修上の助言	受講生とのルール
板書しながら講義するので、整理しながらノートをとること。分らない言葉や気になるキーワードは、電子辞書、ネット、図書館等でまず自分で調べてみる。	公民館、図書館、博物館などの社会教育施設に行ってみることをおすすめします。 運動会などの地域行事、NPOやボランティア団体の活動などにも関心を持つようにする。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 （口頭・実技）	70	①	✓	講義の基礎的な内容を理解し、分りやすく整理し報告ことができるかを問う。【評価の目安】優：①講義内容を理解したうえで、②これまで学んできた知識や技能を活用し、③自分やチームの分析や提案を論理的に展開できる。良：「優」の要素のうち二つを満たしている。可：「優」の要件のうち一つを満たしている。不可：「優」の要素のどれも満たすことができていない。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 （学修態度）	30	①	✓	・積極的な発言や質問、チームの活動を促進する行動、困っているメンバーを支援する行動などは、加点する。 ・欠席、提出物の未提出、私語などの周りの学生への迷惑行為があれば、減点対象となる。 ・他者に分かりやすい説明ができる
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及び到達レベルA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
S(秀)：①講義内容を理解したうえで、②これまで学んできた知識や技能を活用し、③自分やチームの分析や提案を論理的に展開でき、④講義やチームの学習の深化に貢献できている。A(優)：①講義内容を理解したうえで、②これまで学んできた知識や技能を活用し、③自分やチームの分析や提案を論理的に展開できる。	A(優)の 3 つの要素のうち、二つ以上を満たすことができる。

週	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション：社会教育・生涯学習の基本的事項と「計画」の意義と必要性について学ぶ。	講義	社会教育・生涯学習の基本的事項を理解し説明できる。	これまで受講した社会教育・生涯学習の授業を復習する。	60	課題発見力、主体性
2週 /	地域住民の学習ニーズと課題を考える。 ①地域課題	講義	地域課題について理解し説明できる。	少子高齢化、人口減少、過疎化などについて調べる。	60	課題発見力
3週 /	地域住民の学習ニーズと課題を考える ②貧困等の福祉に関する問題	講義	貧困等福祉に関する問題について理解し説明できる。	貧困等福祉に関する問題について調べる。	60	課題発見力
4週 /	地域住民の学習ニーズと課題を考える ③発表・ふりかえり	講義、発表	地域住民の学習ニーズと課題について理解し説明できる。	地域住民の学習ニーズと課題について調べる。	60	課題発見力、主体性
5週 /	地域における学習の場：社会教育施設の機能と役割を考える	講義	社会教育施設について理解し説明できる。	社会教育施設やNPOなどについて調べる。	60	課題発見力
6週 /	地域における学習の場：NPO、ボランティア・地域活動について学ぶ	講義、グループワーク	NPO、ボランティア・地域活動について理解し説明できる。	NPO、ボランティア・地域活動について調べる。	60	課題発見力
7週 /	地域における学習の場：社会教育と福祉について検討する。	講義、グループワーク	社会教育と福祉について理解し説明することができる。	社会教育と福祉について調べる	60	課題発見力
8週 /	発表とふりかえり	講義、発表	社会教育・生涯学習の実態と課題について説明できる。	社会教育・生涯学習の実態について整理しておく。	60	課題発見力

能力名：主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性　ストレスコントロール力

週	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会教育計画の概要を学ぶ	講義・グループワーク	社会教育計画の基礎的な内容について説明できる。	自分の住む地域の社会教育実践や計画を調べておく。	60	計画力
10 週 /	社会教育計画の内容を学ぶ	講義・グループワーク	社会教育計画の具体的な内容について説明できる。	社会教育計画の事例を調べる。	60	計画力
11 週 /	社会教育計画の策定方法を学ぶ	講義・グループワーク	社会教育計画の具体的な策定方法について説明できる。	社会教育計画の事例を調べる。	60	計画力
12 週 /	発表と振り返り	講義、発表	社会教育計画について具体的に説明できる。	社会教育計画の事例について調べる。	60	計画力、主体性
13 週 /	社会教育職員の専門性と力量形成について学ぶ①	講義・グループワーク	社会教育職員の専門性と力量形成について説明できる。	社会教育職員の専門性と力量形成について調べる。	60	課題発見力
14 週 /	社会教育職員の専門性と力量形成について学ぶ②	講義・グループワーク	社会教育職員の専門性と力量形成について説明できる。	社会教育職員の専門性と力量形成について調べる。	60	計画力
15 週 /	最終発表・ふりかえり	講義、発表	全体の内容について具体的に説明できる。	全体の内容の復習を行う。	60	計画力、主体性

能力名：主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性　ストレスコントロール力